

NEXT21自然のたより

2012年12月

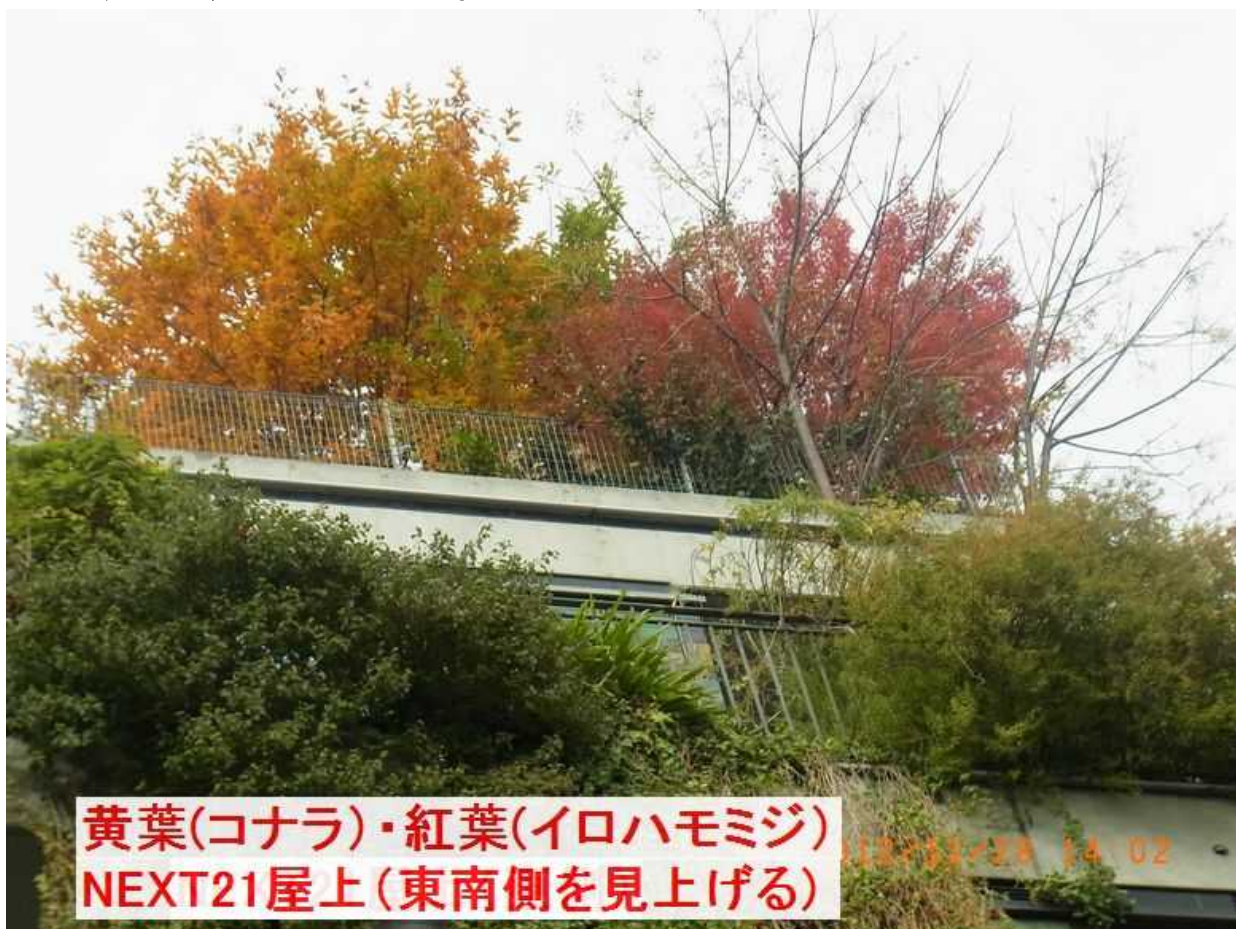


No. 12

2012年12月4日

1. NEXT21 初冬の風景

NEXT21には黄葉・紅葉に彩られる落葉樹が数多くあり、見頃を迎えています。今回は 11/28 に写した写真をベースに黄葉・紅葉特集としました。



黄葉(コナラ)・紅葉(イロハモミジ)
NEXT21屋上(東南側を見上げる)

2. 樹木の黄葉・紅葉

先ずは木全体の黄葉・紅葉を紹介します。

①カスミザクラ(バラ科)

先月カスミザクラの紅葉の始まりを紹介しました。1ヶ月経過し、葉のすべてが真っ赤に染まりNEXT21でNo1の紅葉を誇っています。

オオシマザクラは黄色い葉のみ、赤色の葉が



オオシマザクラ



カスミザクラ紅葉

一枚も無いのは、どんなわけでしょうか。

NEXT21 にありませんが、都市近郊で最も多いサクラはソメイヨシノ、オオシマザクラとエドヒガンの雑種と言われています。今年は各地で

ソメイヨシノが真っ赤に色づいていますが、一方の親エドヒガンの紅葉もそれほど美しさはないので、ソメイヨシノの紅葉は「出藍の誉」と言えそうです。

②クヌギ(ブナ科)

夏にシロテンハナムグリが飛び交ったクヌギ、ドングリが落ちた後、黄葉になる葉があるものの少なく、殆んど褐葉に変化しています。クヌギに良く似ていて大阪近郊に多いアベマキ、NEXT21 にありませんが、クヌギよりも幹・葉裏の感触が柔らかい特徴があります。



クヌギ褐葉

③コナラ(ブナ科)

屋上庭園のコナラはこれまで木の芽、地味な花、ハイロチョッキリ、そしてドングリと、季節の変化をいろいろ取り上げてきましたが、今回は黄葉・紅葉です。

コナラは日陰では黄葉 or 褐葉に、日当たりでは紅葉に変化します。

右写真は西側屋上庭園のコナラ、木全体が緑葉から黄葉に変化しつつある中で、右上写真のように真っ赤に変化した葉もあります。



④ミツバアケビ(ブナ科)

ミツバアケビの葉は、日当たりの良い所は紫色葉に、日陰は黄葉に変化します。全体写真でいろんな色に変化した葉のあることがわかります。



(ミツバアケビの実)

4月にアケビとミツバアケビの花を紹介し、実の生ることを期待していました。毎月実を探していて見つからなかったのですが、9月25

日ミツバアケビに実が1個あることを発見しました。

通常アケビの実は、10月に熟し食べられるので楽しみにしていたが、実らず11月28日開かないまま地上に落ちていました。

アケビの由来は熟すと果皮が開くので「開け実」になったとのこと、開かずに朽ちたのが残念です。



3. 木の葉さまざま(黄葉)

木全体が燃えるような黄葉・紅葉もあれば、個々の葉に鮮やかな黄葉・紅葉もあります。以下、上記で紹介できなかった木々の黄葉・紅葉を楽しんでいただきたいと思います。



①エノキ(ニレ科)

木の実に鳥が集まり、青葉の頃はオオムラサキなどチョウが集まるエノキ、NEXT21-1Fにある大きなエノキは、ヒヨドリなどの餌場として、スズメ・ドバトの休憩所として利用されています。屋上庭園西側のエノキは、日当たりが良いことから真っ黄色に染まっています。



②ムクノキ(ニレ科)

黒い木の実がおいしく、鳥たちも大好物、ムクドリはムクノキの実を食べる鳥であると名づけられたと言われています。NEXT21-1Fの日本野鳥の会事務所の入り口にムクノキがありますが、木の大きさからは植栽されたものでなく、エノキに来ているヒヨドリなど鳥が、何処からか運んできたのではないかと、勝手に想像しています。



③マンサク(マンサク科)

花の時期に説明しましたが、早春に咲くため「まず咲く」として名づけられたようです。細い短冊状の黄色い花びらに特徴があり、花の時期はすぐ



に、種名がわかります。

④フジ(マメ科)

空中街路にあるフジがきれいに色づいています。花の時期に気づけなかったのは、まだ木が幼くて花が咲かなかったのでしょうか。その分、いま黄葉で自己主張をしています。

4. 紅葉もさまざま

続いて、赤く色づいた木々の葉を紹介します。

①ニシキギ(ニシキギ科)

秋の紅葉が錦のように美しいことから名づけられたニシキギ、空中街路4F に輝いています。ニシキギは木の枝に板状の翼がついているので、ニシキギとわかります。山地には翼のない変種、コマユミがあります。

②ドウダンツツジ(ツツジ科)

空中街路3F のドウダンツツジ、名前の由来は枝分れする形が、昔の灯明台「結び灯台」に似るのに由来しています。春、つぼ型の美しい白い花が咲きます。

③ブラックベリー(バラ科)

空中街路5F アケビ近くに植栽されており、夏に黒いイチゴが実っていました。機会を見て、じっくり紹介したい木の一つです。

④ハゼノキ(ウルシ科)

屋上庭園の何カ所かで赤く色づいています。ハゼノキは鳥が好きな木の実なので、植栽されたのではなく種子が運ばれてきたと推定されます。紅葉を愛でるため庭に植えていたら、ウルシかぶれでひどいことになったと、友達から聞いたことがあります。

⑤イロハモミジ(カエデ科)

殿(しんがり)は紅葉の代表として、誰もが知っているイロハモミジです。屋上庭園に何本かモミジが植栽され、丁度真っ赤に染まっています。

今年、関西では11月初旬から急に冷え込んだことから各地で美しいモミジが見られますが、モミジが早い北国では10月の気温が高かったため、モミジの色が冴えないまま、最盛期を終えたようです。



木の枝の翼
ニシキギ

紅葉



ドウダンツツジ



ブラックベリー



ハゼノキ



イロハモミジ